

2024年8月3日

8・6広島原爆投下79年韓日共同行動にお集まりの皆さまへ

被爆二世の会 代表 寺中正樹

8・6広島青空式典から9・6「山口のヒロシマデー」へ！連続行動実行委員会

広島・長崎へ原爆が投下されてから79年を迎えます。皆さま方の熱い平和への志によって、本年も広島とソウルを結び、韓日同時行動として、反戦・反核・反原発・被爆者解放のための青空集会ができることに感謝します。また福島第一原発事故で発生した核汚染水の海洋投棄に共に反対していただき、ありがとうございました。経済優先、軍事優先の社会の中で、労働者民衆の生活は物価高に苦しみ、生活破壊が進んでいます。

現在も中東のガザ地区で、イスラエル軍により多くのパレスチナ民衆が虐殺されています。また、ロシアがウクライナに侵略し、欧米諸国がウクライナに軍事支援することで2年5カ月を経た今もウクライナ侵略戦争が続いています。イスラエルもロシアも核兵器保有国であり、原発への攻撃も含めて、いつ核戦争が起こってもおかしくない状況です。しかも、核兵器保有国は軍事同盟を利用し、原子力潜水艦を強化して核戦力を高めようとしています。私たちは、国境を越えて、即時停戦を求めて粘り強く闘いましょう。

広島・長崎への米軍による原爆投下によって、1945年末までに、広島では約14万人が、長崎では約7万人がその命を奪われました。原爆被爆者の中に朝鮮半島出身者が広島で5万人、長崎で2万人、合わせて7万人いたことを私たち日本人は決して忘れてはなりません。日本帝国主義の植民地支配と侵略の結果であり、日帝一岸田政権に植民地支配への謝罪と賠償を求めます。今も日本にはびこる差別排外主義と私たち日本の労働者民衆は闘います。

核に抑止力はありません。それどころか核兵器の被害は、世代を超えて続いていく可能性があり、人道上許すことのできない兵器です。人類と核は共存できません。

未だ原子力政策にしがみつくと、日帝一岸田政権と韓国の尹錫悦大統領は、老朽原発の耐用年数を増やし、事故の可能性を高めています。しかも、原発の再稼働を促すために、使用済み核燃料の保管施設を作ろうとしています。私たちは、この動きに日本でも韓国でも反対し、全ての原発の廃炉を求めます。これ以上、10万年先まで保管し続けなければならない核のゴミを増やすわけにはいきません。

朝鮮半島の非核化どころか日・米・韓の核安保体制がつくれようとしています。朝鮮半島の平和に軍隊も核もいりません。原発も核兵器も廃絶するまで、共に闘いましょう！各国の労働者民衆と連帯して、戦争に反対しましょう！